

LINE、独自ブロックチェーン「LINE Blockchain」を基盤とした 初の外部企業サービスを発表

2020.09.30 ブロックチェーン関連サービス

LINE株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤剛、以下「LINE」）は、暗号資産事業およびブロックチェーン関連事業を展開するLVC株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長CEO：林仁奎、以下「LVC」）の傘下であるLINE TECH PLUS PTE. LTD.（所在地：シンガポール、代表取締役：イ・ヒウ、以下「LTP」）を通じて、LINEの独自ブロックチェーン「LINE Blockchain」が導入された企業のサービスを発表いたしました。



LINE Blockchain

「LINE Blockchain」は、LINEが独自に開発したブロックチェーンです。企業は、開発プラットフォーム「LINE Blockchain Developers」^{*1}を通じて「LINE Blockchain」を基盤としたブロックチェーンサービス（dApps^{*2}）を簡単かつ効率的に構築することができます。既存のサービスに手軽にブロックチェーン技術を導入することができ、独自のトークンエコノミーを構築することも可能です。「LINE Blockchain Developers」で構築した各サービス内で発行されるトークンを、LINEアカウントと紐づくデジタルアセット管理ウォレット「BITMAX Wallet」で管理・連携させることで、LINEのユーザー基盤を活かしたサービスの構築や一部導入もできます。2020年8月26日に「LINE Blockchain Developers」の提供開始を発表した6日目には申込数が100件を突破いたしました。

^{*1} 参照プレスリリース：<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2020/3385>

^{*2}：「Decentralized Applications」の略で、ブロックチェーン技術を用いた分散型・分権的なアプリケーション

このたび、初の「LINE Blockchain」導入事例となる、企業のサービスをご紹介します。下記サービスのリリースを皮切りに、様々なサービスが段階的にリリースされる予定です。

1. モバイルRPGゲーム「ナイトストーリー」



ブロックチェーンゲーム開発会社のBiscuitlabs様は、モバイルRPGゲーム「Knight Story」の日本版を提供開始しました。プレイヤーはナイトとして、ペットと共にバトルをしながら素材を収集し、素材を組み合わせで装備アイテムを作成し強化していきます。木材、鋼などの70種類以上の素材を組み合わせると、剣、弓、鎧など200種類以上のアイテムに変換できます。ゲーム内アイテムは全てNFT（ノンファンジブルトークン）アイテムになるため、プレイヤーはアイテムの保有権を持ち、交換したり売ったりすることができます。

・提供開始日：2020年9月30日

・サービスURL：<https://knightstory.page.link/app>

2. 電子契約サービス「リンクサイン（linksign）」

linksign.

リーガルテック企業のComake様が提供する「リンクサイン（linksign）」は、AI・ブロックチェーンベースの電子契約サービスで、契約書の作成、内容の検討、署名、締結等と契約行為を始まりから終わりまで完結できるオールインワンプラットフォームです。ユーザーは、様々な契約書テンプレートを使用し簡単に契約書を作成することができます。また、全ての契約プロセスをリアルタイムで確認することができます。ブロックチェーン技術が契約文書の偽造・変造を防止するため、安心して利用できます。

・提供開始日：2020年9月30日

・サービスURL：<https://www.linksign.jp/>

3. ソーシャルメディア「aFan」



Common Computer様が提供する「aFan」は、ブロックチェーンベースのクリエイターとファンを繋ぐ新しいタイプのソーシャルメディアです。ユーザーは、写真家、イラストレーターなどのクリエイターに直接ドネーションすることでファンになり、クリエイターのコンテンツ制作や活動をサポートすることができます。ファンとクリエイターは、トークン「ファンコ」を通じて、従来の「いいね」やコメント以上の相互交流が可能となります。

- ・提供開始日：2020年10月上旬予定
- ・サービスURL： <https://afan.ai/ja>

4. MMO戦略ゲーム「リーグオブキングダム for LINE Blockchain」



ブロックチェーンゲーム開発会社のNOD Games様は、MMO戦略ゲーム「リーグオブキングダム」の日本版「リーグオブキングダム for LINE Blockchain」を10月末に提供開始予定です。王国を建国し、連盟や戦争を通じて領土を広げ、大陸の覇権を争うゲームです。プレイヤーは、ゲーム内で保有する資産をブロックチェーンアイテムトークンに転換することにより完全に保有し、取引することができます。また、ブロックチェーン技術をさらに活用し、今後はプレイヤーがゲームの方向性決定に参加できる仕組みも計画しています。

- ・提供開始日：2020年10月末予定
- ・サービスURL： <https://ln.leagueofkingdoms.com>

5. コインブッシュゲーム「CryptoDozer」



ブロックチェーンゲーム開発会社のPlayDapp様は、コインブッシュゲームをモチーフにした「CryptoDozer」を2020年内に日本向けに提供開始予定です。コインを並べて30種類以上の可愛いDozerドールを手に入れることができ、ファンシードールを獲得するためにDozerドールを調合することもできます。ドールを強化してゲームプレイをさらに活性化します。

- ・提供開始日：2020年内予定
- ・サービスURL： <https://link.cryptodozer.io>

6. ソーシャルカラオケアプリ「SOMESING」



エンターテインメント関連サービスを提供しているEmel Ventures様は、ソーシャルカラオケアプリ「SOMESING」を2020年内に日本向けに提供開始予定です。いつでもどこでも高音質のカラオケを楽しむことができ、一人で歌うことも、全世界の友達とデュエットすることも可能です。ブロックチェーン技術を応用した世界初のカラオケアプリであり、独自のリワードシステムによりユーザーは自分が歌った歌に対して公正な報酬を受け取ることができます。

- ・提供開始日：2020年内予定

7. ビデオ・ストリーミング・プラットフォーム「Theta.tv」



ビデオ配信サービスを提供するTheta Labs様（Theta Network）は、eスポーツ専門のビデオストリーミングプラットフォーム「Theta.tv」を2020年内に日本向けに提供開始予定です。ユーザーは、コンテンツを視聴し、帯域幅を別の視聴者たちに共有することでリワードを受け取ります。また、ユーザーは特定のクリエイターを購読し寄付することも可能です。

- ・提供開始日：2020年内予定
- ・サービスURL： <https://www.thetatoken.org/link>

8. スポーツゲーム「Crypto Sports（仮称）」



アクセルマーク株式会社様と、株式会社オルトプラス様の100%子会社である株式会社OneSports様は共同で、「LINE Blockchain」を用いてプロスポーツライセンスを使用したゲームの開発を進めており、2021年以降にローンチを予定しております。ユーザーは試合に参加して選手を育成し、その選手達を取引することができます。

- ・提供開始日：2021年以降予定
- ・コーポレートサイトURL：
 - ・アクセルマーク株式会社 <https://www.axelmark.co.jp/>
 - ・株式会社オルトプラス <https://www.altplus.co.jp/>
 - ・株式会社OneSports <https://www.altplus.co.jp/onesports>

※サービス提供開始日・サービス名五十音順

今後も、LINEでは、「あなたの毎日につながるLINE Blockchain」をコンセプトに、ユーザーの日常生活に実際に適用できるブロックチェーンサービスおよび技術の提供を目指してまいります。

■LINE株式会社の概要

(1) 名称：LINE 株式会社

- (2) 所在地：東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー23階
- (3) 代表者：代表取締役社長 CEO 出澤 剛
- (4) 事業内容：コミュニケーションアプリ「LINE」およびLINEプラットフォーム上で展開するコンテンツ・サービス、その他ウェブサービス事業、AI 事業の提供、運営
- (5) 資本金：97,032百万円（2020年3月末時点）
- (6) 設立年月日：2000年9月4日

■LINE TECH PLUS PTE. LTD. の概要

- (1) 名称：LINE TECH PLUS PTE. LTD.
- (2) 所在地：10 ANSON ROAD#23-14L INTERNATIONAL PLAZA SINGAPORE(079903)
- (3) 代表者：代表取締役 イ・ヒウ/Lee HeeWoo
- (4) 事業内容：暗号資産「LINK」の発行
- (5) 設立年月日：2018年4月11日
